

作新学院大学と4プロスポーツチームとの 連携協力に関する協定締結の趣旨について

本日、作新学院大学（以下「本学」という。）と株式会社栃木サッカークラブ、株式会社リンクスポーツエンターテインメント、株式会社栃木ユナイテッド及びサイクルスポーツマネジメント株式会社（以下「4プロスポーツチーム」という。）は、連携協力に関する協定（以下、「本協定」という。）を締結いたしました。

本協定の目的は、その第1条に明記されておりますように、本学と4プロスポーツチームが密接に連携協力することによりまして、双方の人的・物的・知的資源の活発な交流と活用を図り、もって地域活性化への貢献とスポーツの振興に寄与するとともに、相互により一層の充実と発展を遂げていくことにあります。

また、以上の目的に基づく具体的な連携協力事項（第2条）につきましては、①新たなスポーツ文化の確立及びスポーツを活かした地域活性化に関する事、②スポーツを支える人材の育成に関する事、③持続可能な事業・産業として発展させるスポーツマネジメントに関する事、④施設及び人的資源の相互の交流及び利用に関する事、⑤作新学院大学が行う調査研究活動への4プロスポーツチームの協力及び双方共同による調査研究の推進に関する事、⑥その他本協定の趣旨に基づく事業の実施に関する事、という包括的な6つの事項を掲げております。

これら事項の基底にあるものは、スポーツを「競技」や「体育」としてのみ捉える従来の観念から脱却いたしまして、スポーツの多面的な価値を正しく再評価し、文化や産業としてスポーツを発展させていくことにより、地域の活性化に繋げていくという考えであります。とりわけ、本県には4つ以上のプロスポーツチームが存在しておりまして、東京などの大都市圏を除けば、他県にはないスポーツの潜在力が既に備わっております。

しかし、残念なことに現状ではこうした理解が必ずしも十分とはいえず、オール栃木としてプロスポーツチームを支え活かすことができている、とはいえないのではないかと感じております。こうしたなかで、公益社団法人栃木県経済同友会におかれては、本学の教員や学生も参加させていただきながら、プロスポーツチームを支え活かしていくさまざまな取組みを開始されております。本協定にもとづく本学と4プロスポーツチームの連携協力の取組みも、そうした延長線上において協働して展開していきたいと考えております。

先ごろ、2020年オリンピック・パラリンピックの東京開催が決まり、これまで招致委員会のもと全国86の連携大学とともに、招致活動を展開してきた本学といたしましても歓喜に堪えないところであります。ただ、オリンピック・パラリンピックは4年に一度の世界

最大のスポーツ祭典であるだけに、東京だけが賑わって過ぎ去ってしまうような「うたかたの夢」としてはならないと考えております。そのためには、その成果を本県としても多方面で共有できるようにするとともに、4プロスポーツチームをはじめとする日常的な地域スポーツとの好循環を形成していくことが必要ではないでしょうか。

本学は、来年度（平成26年度）、経営学部に新たにスポーツマネジメント学科を創設いたします。そこで、当該学科を軸に高等教育機関としての立場から、4プロスポーツチームと取り交わした本協定を十二分に活かした取組みを進め、地域の活性化とスポーツの振興に貢献することができるよう、全力を傾注していく所存でおります。

平成25年9月26日

作新学院大学 学長 太田 周